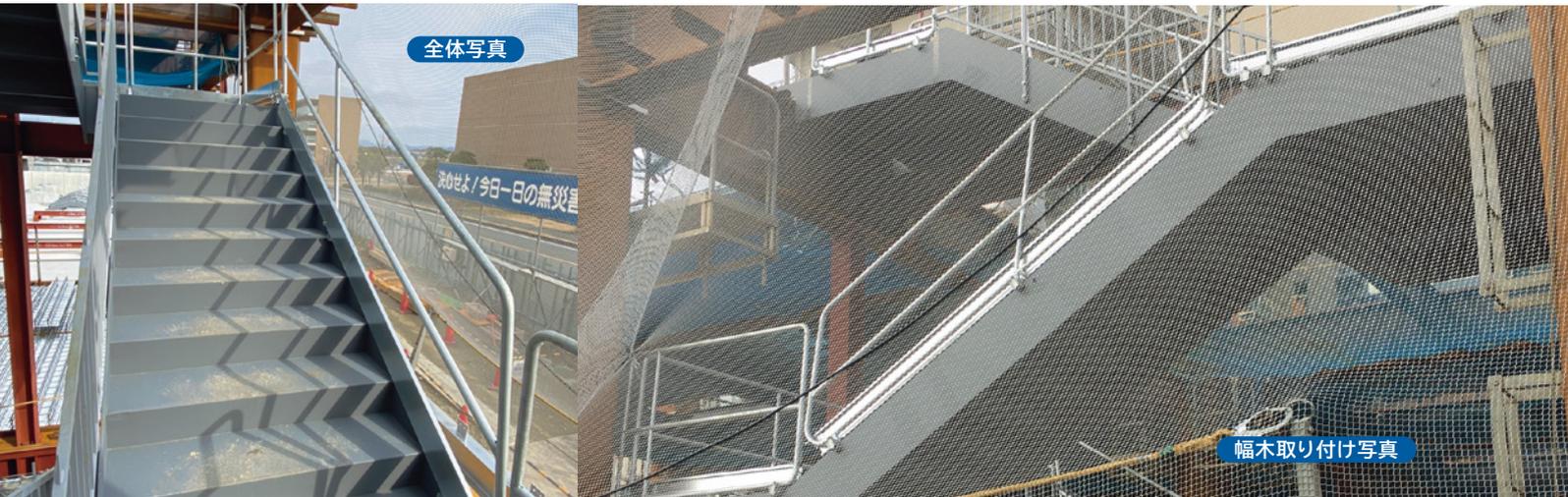


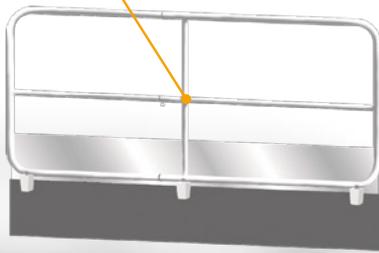
テスラー PAT.P

安全対策と作業効率向上を兼ね備えた次世代鉄骨階段用仮設手摺



次世代鉄骨階段用仮設手摺 テスラー

KFO-1524G (DG) /
KFO-1524H



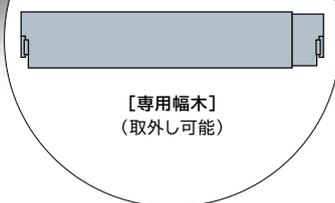
KF-2034G (DG) /
KF-2034H



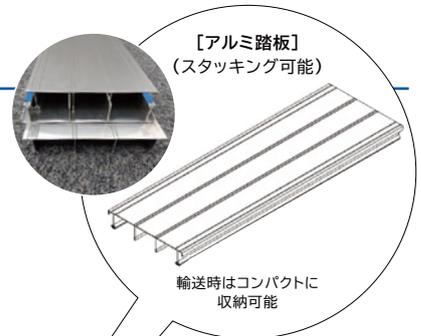
KF-1219G (DG) /
KF-1219H



KFO-02G (DG)

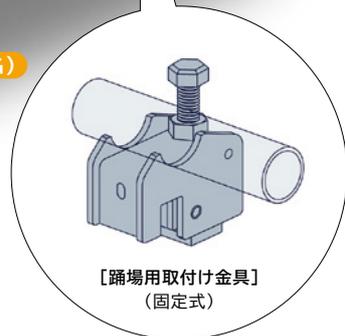


KFO-0913G (DG) /
KFO-0913H



輸送時はコンパクトに
収納可能

KFO-05G (DG) /
KFO-05H





特長

安全性

専用幅木取付けにより落下物を防ぎ安全性を向上(※幅木は取外し可能)
階段折り返し部分の隙間対策手摺をラインナップに追加(KFO-02G)

作業性

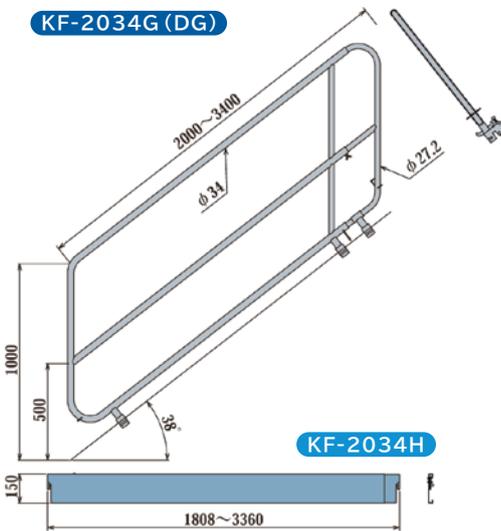
取付け金具の新機能によって仕上げ作業効率が大幅に向上



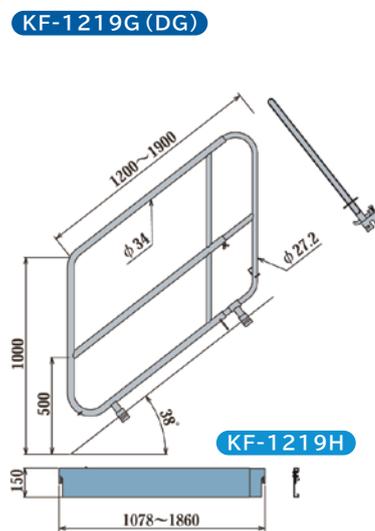
(一社) 仮設工業会「墜落防止設備等に関する技術基準/手すり等第2種」に定められた強度を準用
専用幅木は(一社) 仮設工業会「仮設機材認定基準(幅木)の第1種」に定められた強度を準用

テスラーの形状・寸法 専用巾木は*Gタイプ、*DGタイプで共通

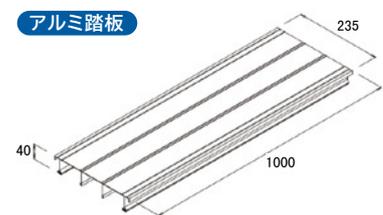
KF-2034G (DG)



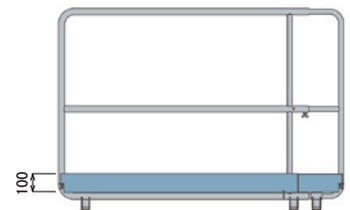
KF-1219G (DG)



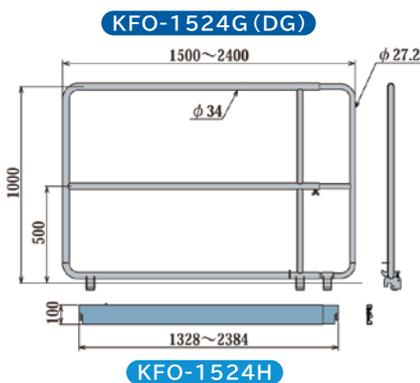
アルミ踏板



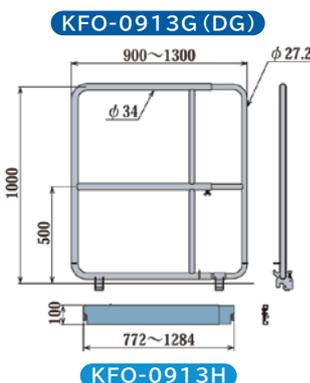
幅木取付け図(踊り場用)



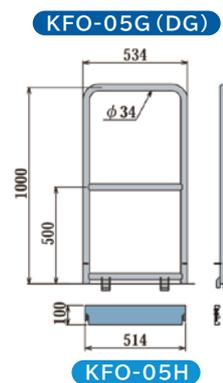
KFO-1524G (DG)



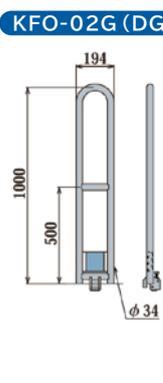
KFO-0913G (DG)



KFO-05G (DG)



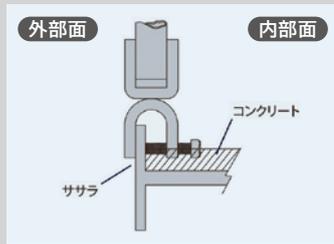
KFO-02G (DG)



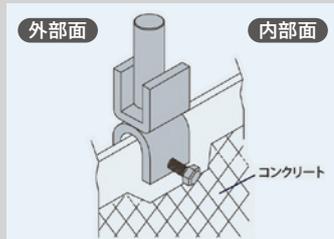
寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様及び寸法は予告なく変更する場合があります。

テスラー 従来品との比較

従来品



ササラに対して横からボルトを締付ける構造なので、ボルトにコンクリートが付着し回らないことがある。

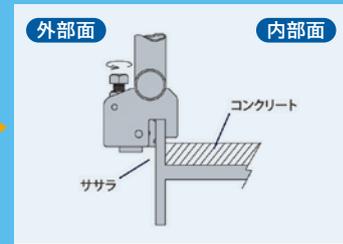


コンクリート打設時に干渉するため、図のように金具付近は後で補修を行う必要がある。



コンクリート打設時に金具を上方向に逃がす必要がある。そうすると抑え金具の掛かりが浅く不安定な状態になる。

テスラー



ササラに対して上からボルトを締付ける構造なので、ボルトにコンクリートが付着することを防ぐ。



コンクリート打設しても10mm程度の余裕があるため、写真のように後作業が可能。



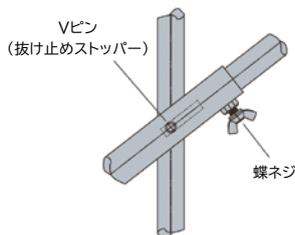
標準仕様で従来品よりもおよそ25mm上方向に位置することから特別な設置方法は必要なくコンクリート打設可能。

これまでの悩みが「テスラー」で解決!



従来品では落下物を防ぐためには養生ネットの設置が必要ですが、テスラーは幅木を取付けることで落下物を防ぐので養生ネット取付けの手間を省きます。

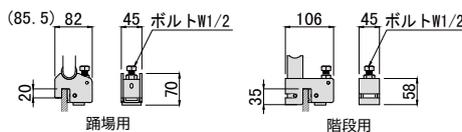
伸縮部



オプションパーツ

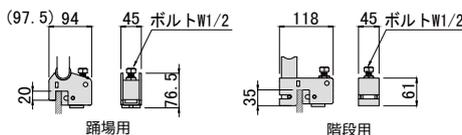
取付け金具 (Gタイプ)

つかみ巾: 12~16mm

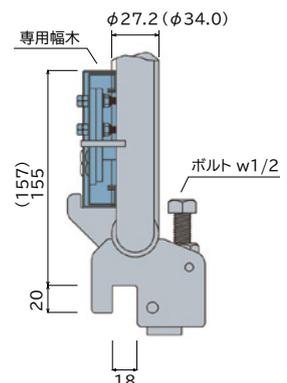


取付け金具 (DGタイプ)

つかみ巾: 12~25mm



下部断面図 (踊場用)





テスラー 仕様

使用箇所	型式	寸法 (mm)	重量 (kg)
階段用	KF-2034G (DG)	H1000×W2000~3400	22.3 (22.5)
	KF-1219G (DG)	H1000×W1200~1900	14.7 (14.9)
踊場用	KFO-1524G (DG)	H1000×W1500~2400	18.0 (18.3)
	KFO-0913G (DG)	H1000×W900~1300	11.9 (12.1)
	KFO-05G (DG)	H1000×W534	7.7 (7.9)
	KFO-02G (DG)	H1000×W194	5.8 (5.9)
専用幅木	KF-2034H	H150×W1808~3360	6.5
	KF-1219H	H150×W1078~1860	3.9
	KFO-1524H	H100×W1328~2384	3.8
	KFO-0913H	H100×W772~1284	2.3
	KFO-05H	H100×W514	1.2
階段踏面	アルミ踏板	L1000×W235×H40	1.9

(本体-KSGメッキ・取付け金具-ドブメッキ)

【取付け方法及び注意点】



注意事項

●鉄骨階段建て前にテスラーを取付ける。(地組みする)、地組み出来ない場合は墜落防止措置を講じて取付ける。●テスラー取付け→①外管の取付け金具を先に固定→②幅木をテスラーに取付ける→③蝶ボルトを緩め内管手摺及び幅木を伸縮させて寸法を合わせる→④内管の取付け金具を固定する。●取付け時、ササガが取付け金具の奥まできていることを確認し、ボルトの締付けを行います。(適正值:トルク350kgf・cm) ●最後に全体の緩み、蝶ボルト、取付け金具の締付けが確かを確認します。●取付け金具は締付けボルトが外部面にくる様取付けてください。●取付け金具を取り付ける母材強度についてはご確認をお願いします。

【使用上のご注意】

●手摺の上棧、中棧、下棧、幅木の上に乗ったり、足場板等を敷かないでください。●墜落制止用器具や親綱の支持元にしないでください。●材料などを立てかけないでください。●規格の寸法を超えて使用しないでください。●階段の手摺以外で使用しないでください。